

一般社団法人 埼玉県リハビリテーション専門職協会  
令和 5 年度 第 6 回理事会 議事録

日 時：令和 6 年 1 月 22 日（月）19：00～20:20

場 所：オンライン（Zoom）

参加者：15 名（理事 12 名、監事 3 名）

理事）岡持、伊藤、蛭田、水田、阿久澤、駒井、茂木、大橋、平田、高木、中辻、大住

監事）南本、宇田、田尻

司 会：伊藤

書 記：大住

<審議>

**第 1 号議案** 令和 6 年埼玉県委託事業について 【岡持】

- ・ 令和 6 年度の委託事業に手上げすることの是非についてご審議いただきたい。
- ・ 次年度の基本的な視点
  - 来年度の改訂に対し、
    - ◇ 地域包括ケアシステムの深化、リハと口腔と栄養の一体的提供。総合事業の充実：多様な資源や関係者の協力体制。地域包括支援センターにリハ職の協力体制を作れないか（事業における専門職評価）。介護予防ケアマネジメントのプランニングに対してリハ職協力に加算。
    - ◇ 保険者機能の強化：地域デザイン機能（力）。伴奏支援が必要。適切な指標による実績評価。
- ・ 事業 1：評価に基づく、事業の発展と保険者機能強化 → 事業全体像の検討を伴奏支援（国の研究機関）
- ・ 事業 2：短期集中予防支援の創造と横展開（全ての市町村に設置）→ リハ専門職に支援に打診あり。

協議内容

- ・ C 型を横展開
  - 全市町に複数創設する計画
  - 口腔に対して地域の ST のさらなる協力が必要となると考える
  - 士会の会員が活躍できる場が増えるのはありがたい。頑張らなくてはいけない。
- ・ 事業 1 と事業 2 の相互連携は図られるのか？
  - 担当者同士が適宜会議を持ちながら進める予定。
- ・ どのような形で全市町をフォローする形になりそうか。
  - 県が年間 3 回市町の担当者に研修を開催してもらい、関係性を作って進めていく予

定。

- ・ 口腔と栄養と体（認知機能・高次脳機能）を一体的にみることができるのは ST ではないか。
- ・ 募集が出るのが、次年度だろう。

<決定事項>

- ・ 満場一致で、事業 2 に手上げをすることに承認される

**第 2 号議案** リハ職育成研修会 ブラッシュアップの開催について 【駒井】

- ・ 前回、理事会で承認された事項なので、進捗状況の説明

協議内容

・

<決定事項>

- ・ 引き続き、準備を進めてください。

その他

緊急動議は特になし

<報告・連絡>

1. 能登半島地震における災害リハビリテーションの現状について（岡持）
  - ・ 被害が大きく、全国からの支援が長期化しそう
  - ・ 1 月 9 日全国 JRAT からの報告があり、1 月 10 日に 3 会長と災害担当者に報告した
  - ・ 1 月 14 日～18 日 RRT（埼玉 1 名：PT 吉田）を派遣
  - ・ 1 月 18 日～23 日 埼玉 JRAT 1 チームを派遣
  - ・ 1 月 30 日以降の東京本部に霞ヶ関南病院 3 名を派遣予定
    - 各協会から本部支援の依頼がされる予定。ご協力いただきたい
  - ・ 埼玉県版の現地支援者募集の準備を行っている
    - ① 研修会修了者（個人）
    - ② 協力医療機関（個人とチーム：職場で調整）
      - 申し込みフォームを駒井さんから説明あり
      - 現地派遣の自活のために、各士会が支度金として負担を検討

各士会で協議され、承認されたとのこと

- ・ 今後は、埼玉 JRAT からの情報発信になるのか。  
災害対策委員にも情報が回ってきていない状況があるため、事務局 OT 阪井さんに問い合わせた経緯もある。  
→ 今後埼玉 JRAT から、各士会支援に情報発信できる体制が必要ではないか。  
災害対策委員が、埼玉 JRAT 事務局にサポートに入ることも必要と考えているし、協力していきたい（中辻）。

## 2. リハビリテーション専門職の処遇改善について（岡持） 情報提供

- ・ 今回の同時改訂で、リハ職の処遇改善を求めてきた
- ・ 職場レベルで処遇改善が進められなければ、リハ職の処遇改善がされない。
  - 各士会で会員に向けて、情報提供等を行う予定はあるか？  
PT 士会では、代表者会議・管理者ネットワーク研修会で共有。  
資料郵送などは可能ですか？  
→ OT 士会は、郵送や会員ページ掲載は可能。トップセミナーは検討。  
→ ST 士会は、どういう形を取るかは検討が必要。会員に向けての配信は可能。
- ・ 介護福祉士の処遇改善と同じなのか？
  - 介護職のような方法なのかは、まだ出てきていない状況。
- ・ 事務員や社労士が専門に行っている施設もあるが、リハの管理者に提示しても難しいのでは？
  - リハ職から事務長にお話を持っていくことを促すことが必要  
個人追跡型は非常に手続きが大変なので、その方式にならない可能性がある

団体としてできることの検討が必要。

各士会が情報配信することは意見一致する。同じものを情報発信できるよう資料を岡持さんが作成予定し、会長に提示し検討と準備を進める。

- ・ 日本 PT 協会・OT 協会・公衆衛生協会「地域保険総合推進事業」  
働き世代の健康と離職予防の対策を実施していく。  
次年度から、モデル事業として自治体の成人保健担当・健康増進事業担当と一緒に進めていく。  
→ 次年度、埼玉県 PT・OT 士会で手上げをするか
- ## 3. ホームページの改訂について進捗状況の報告（伊藤）
- ・ 茨城県のホームページを参考に作業を進めている

- ・ 各士会のシンボルカラーを基調とする
- ・ コンテンツに関しては、各士会や事業担当者が入れていく

4. 財務部から（大橋）

- ・ 支払い調書を現在発送中
- ・ 定時社員総会の日程を決めたい  
令和6年6月27日（木）19時@大宮ソニックシティ会議室
- ・ 役員変更には、総会までの手続きが必要となる  
3月の理事会では、役員を決めますので、各士会人選の検討をお願いします。
- ・ 5月の理事会では、事業報告・決算報告を予定。  
資料提出の準備をお願いします。

5. 各市会より

- ・ PT士会：特になし
- ・ OT士会：災害支援は最大限の協力をしていきたい。情報の共有をお願いします。
- ・ ST士会：特になし

<次回予定>

次回の理事会は、令和6年3月11日（月）19:00-20:00に開催予定